



「うし年」生まれなど、生まれた年と性質には関係があるの

迷信で、そういわれているだけ

「うし年」生まれの人はのろまだとか、「年」生まれの人はどうだとか、こういう話を
する人がおり、このようなことを、本当だと思っている人がいるようですが、このようなこ
とは迷信です。

というのは、「年」生まれというのは、もともと、中国から伝わった十二支というも
のに、わかりやすく、12種類の動物をあてはめただけのものなので、十二支の動物と、そ
の年に生まれた人の性質とは何の関係もなく、十二支などを使わないアメリカやヨーロッ
パの国々などでは、何も問題にされません。迷信でそういわれているだけなのです。

十二支というのは

今から4000年ほど前、中国では、日を数える順序として、子(シ)、丑(チュウ)
寅(イン)、卯(ボウ)、辰(シン)、巳(シ)、午(ゴ)、未(ビ)、申(シン)、酉(ユウ)
戌(ジュツ)、亥(ガイ)の12を決めました。これが十二支の起こりです。そし
て、年を数えるのにも、これを使っていたのですが、こんなむずかしい字や読み方では、学問
のない人にはむりだろうというので、後に、これらを動物にたとえて、覚えやすいようにし
ました。

それが、日本にも伝わってきたのですが、日本ではそれに、ネズミ、ウシ、トラ、ウサギ、
タツ、ヘビ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イノシシの12の動物をあてて、ネ、ウシ、
トラ、ウ、タツ、ミ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イとよんでいます。そして、年や、
時刻(たとえば、「ウシ三つ」など)と、使われました。

(監修・青木 国夫)

